

目次

凡例

I 東洋の思想

父から聞いた中国の話	3
少年時代の読書	13
徹底ということ	18
「莊子」	23
「墨子」	30
「文章軌範」	36
「唐詩選」	48
知魚楽	56
知魚楽	56

「狂言記」	113
「東西遊記」	119
「源氏物語」	126
心をとめて見きけば	134
三浦梅園の旧居を訪れて	134
歌舞伎の東と西	138
心をとめて見きけば	140
きんもくせい	141
不思議な町	144
やまびこ	147
Ⅲ 西欧の伝統	
アテネの集い	153
ギリシャの自然と天才	157
エピクロス	165
デカルト	172
「ピエール・キュリー伝」	181

一冊の本——老子——	59
水滸伝の座談会に寄せて	62
紅樓夢の世界	64
『山海経』の絵図を見て	67
目に見えない鑄型	70
Ⅱ 日本の古典	
古典と私	75
古典と私	75
今昔の感	76
源氏物語と私	80
私の中の芭蕉	82
漱石と私	84
「近松浄瑠璃」	87
浄瑠璃の文章と節づけ	93
「山家集」「伊勢物語」	99
「近世畸人伝」	107

	私どもの使う言葉	246
	読書偶感	252
	「プリンキピア」	252
	「物理学ノート」「驢馬電子」	255
	「京大理学講座第一輯」	257
	目と耳	260
	洋書にのこる思い出	265
	「わが世界観」「晩年に想う」	269
	自分の書いた本	276
	一日生きることは	284
	ロボット	284
	誤解と弁解	286
	一科学者の人生観	288
	甘さと辛さ	291
	長岡先生の休学	293
	一日生きることは	297

	「ナンセン伝」	184
	エラスムス「平和の訴え」	189
	「ラッセル放談録」	195
	「カラマーズフの兄弟」	202
	「舞姫」	208
	「海潮音」	214
	「あめりか物語」	223
IV 科学者の心		
詩と科学	233	233
日食	233	
話す言葉・書く言葉	234	
真実	237	
眼の夏休み	237	
思想の結晶	240	
詩と科学	242	
鏡と写真	243	

V 読書と人生

読書と人生	301
読書漫録	314
読書漫録	314
読書そのときどき	323
私の中の児童文学	324
歳をかさねること	326
解説	361
底本および初出一覧	371